

2025年度 水素供給拠点構築可能性検討調査結果 | 公表用資料 (1/2)

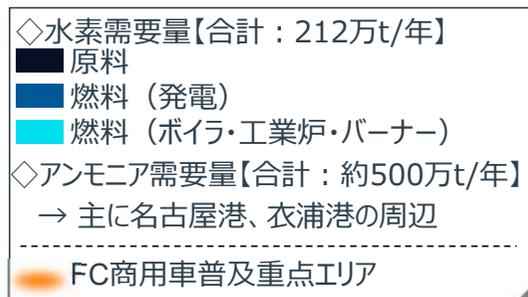
事業概要

- 日本一のモノづくり産業の集積地である愛知県において、カーボンニュートラル推進のカギとなる水素・アンモニアの製造・供給ならびにCCS等実施に向けて、県・市町村の公共用地や民間所有地等を対象に実現可能性を検討調査。

(1) 水素等需要量調査結果

- 県内事業者に対し、今後の見込みをヒアリング調査した結果、名古屋港・西三河北・西三河南・東三河で需要量が多いことが判明。
- 特に、名古屋港では大規模な水素需要が見込まれるため、水素供給に向けたスキーム構築が急務。
- その他の地域においても、水素等のサプライチェーン構築に向けた水素等の供給に資する用地確保が必要。
- そこで、**水素需要が多い地域（名古屋港・西三河北・西三河南・東三河）**の活用可能な用地を調査・整理。

主に製造業における2050年の水素見込み（モビリティ除く）



尾張中西部・海部

- ボイラ・工業炉・バーナー向け燃料用途での水素需要が存在

名古屋

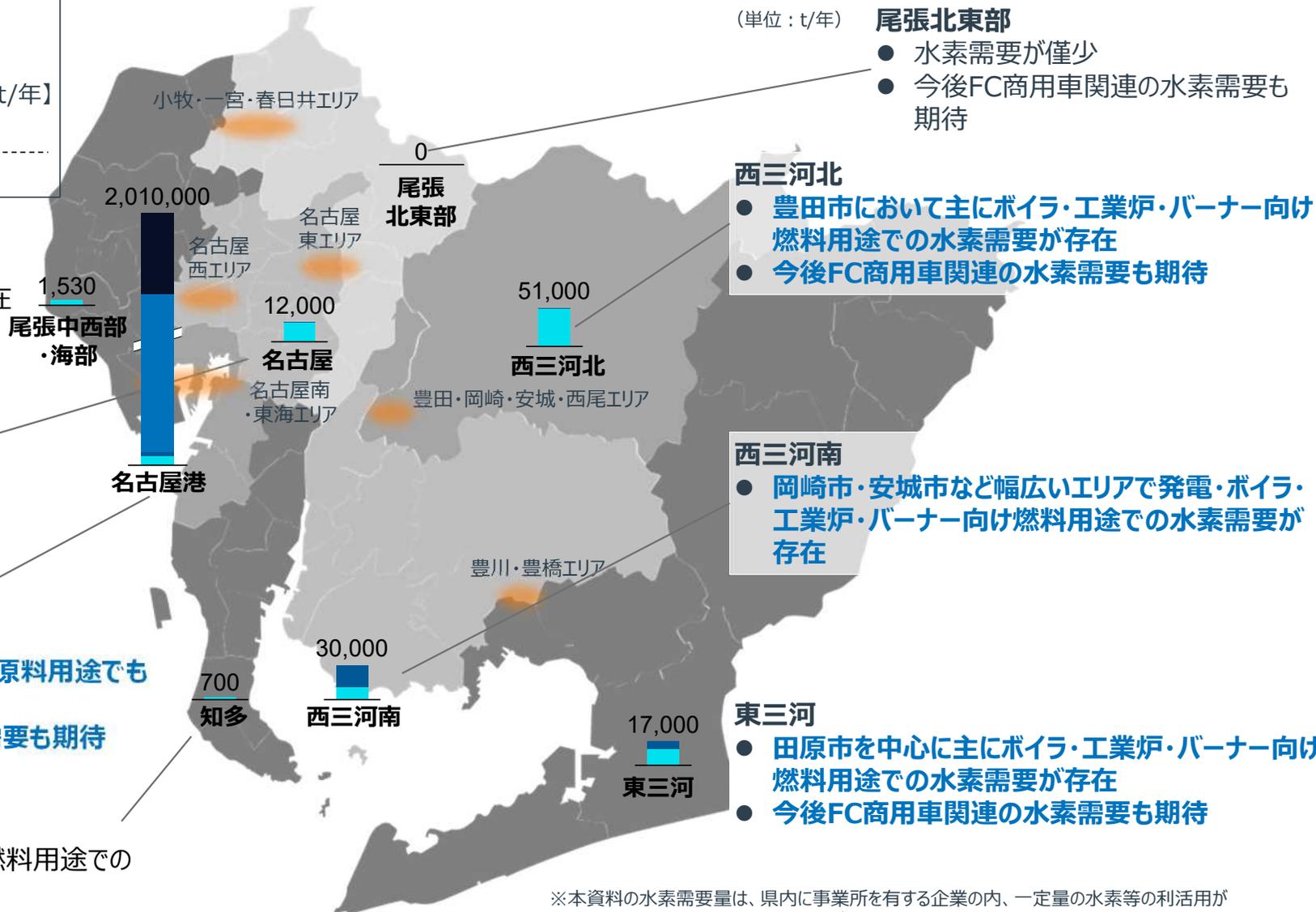
- 大規模ではないが一定の水素需要が存在
- 今後FC商用車関連の水素需要も期待

名古屋港

- 発電向け燃料用途だけでなく原料用途でも大規模な水素需要が存在
- 今後FC商用車関連の水素需要も期待

知多

- ボイラ・工業炉・バーナー向け燃料用途での水素需要が存在



※本資料の水素需要量は、県内に事業所を有する企業の内、一定量の水素等の利活用が見込める企業に対して、県がヒアリングをして集計した値（2025年10月実施）

2025年度 水素供給拠点構築可能性検討調査結果 | 公表用資料 (2/2)

(2) 候補地調査結果 ○ 水素需要量を踏まえて、以下7箇所を有望候補地として整理

有望と考えられる候補地の概要

1 ポートアイランド (名古屋港)

長所 ● 面積が大きいため、水素製造可能量・CO₂の一時貯留量ともに十分な量を見込める

課題 ● 土地面積が大きいこと、水素製造可能量・CO₂の一時貯留量ともに十分な量を見込める

課題 ● 土地利用率未定、土地の帰属未定、インフラ整備等の課題が多い
● 埋立未着手のためステークホルダーの調整含めて時間を要する
● 国際バルク戦略港湾に位置付けられている
● 用地造成に莫大なコストと時間を要する

所在地	名古屋港内	所在地	知多市南浜町周辺
土地面積	約2,500,000m ²	土地面積	約700,000m ²
用途地域	- (未竣工)	用途地域	土地として存在していない
現況用途	- (未竣工)	現況用途	土地として存在していない
利活用可能時期の見込	-	利活用可能時期の見込	-
水素製造見込量	約12,800t/年 (太陽光水電解) 約314,000t/年 (水電解) 約5,000,000t/年 (NH ₃ クラッキング)	水素製造見込量	約3,600t/年 (太陽光水電解) 約88,000t/年 (水電解) 約1,000,000t/年 (NH ₃ クラッキング)
CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	約1,382,000t-CO ₂ /日	CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	約387,000t-CO ₂ /日

2 名古屋港南部地区埋立計画地

1 八草地区

長所 ● 公募による提案であり、低炭素水素の製造・供給、CCS等に対して、前向き
● ジブリパーク・トヨタ博物館が近傍に位置。さらにトヨタ本社工場まで直線で約12kmのため、輸送の観点から豊田市周辺のシンボリックな施設との連携を検討しやすい

課題 ● 保安林など土地利用規制の検討が必要
● 市街化調整区域のため、今後開発手法の選定が必要

所在地	豊田市八草町向田周辺	所在地	豊田市大畑町及び田羽町
土地面積	216,173m ²	土地面積	約180,000m ²
用途地域	- (市街化調整区域)	用途地域	- (市街化調整区域)
現況用途	珪砂採取地	現況用途	珪砂採取地
利活用可能時期の見込	地区内で異なる 全体としては概ね10年以上が目安	利活用可能時期の見込	2027年以降
水素製造見込量※	約1,100t/年 (太陽光水電解) 約27,000t/年 (水電解)	水素製造見込量	約900t/年 (太陽光水電解) 約22,000t/年 (水電解)
CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	周辺需要僅少のため未検討	CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	周辺需要僅少のため未検討

3 名古屋港南部地区南5区

長所 ● 東邦ガス・出光興産等の産業集積地と隣接しているため、輸送が容易
● 工業専用地域 (Ⅲ工区は市街化調整区域) なので、低炭素水素の製造・供給ならびにCCS等を実施しやすい

課題 ● 廃棄物最終処分場を廃止するためのpH基準を達成していない
● 廃棄物最終処分場のため、工法の制約あり
● Ⅱ工区は、既存太陽光発電事業者との調整が必要
● Ⅲ工区は、最終処分場廃止後に緑地として整備する計画。ただし、FS結果により用途変更への調整等 (名古屋港管理組合・知多市) を実施できる可能性あり

所在地	知多市南浜町
土地面積	Ⅱ工区: 約230,000m ² Ⅲ工区: 約330,000m ²
用途地域	Ⅱ工区: 工業専用地域 Ⅲ工区: 市街化調整区域
現況用途	廃棄物最終処分場
利活用可能時期の見込	廃棄物最終処分場のため、工法制約あり
水素製造見込量	約2,900t/年 (太陽光水電解) 約70,000t/年 (水電解) 約1,000,000t/年 (NH ₃ クラッキング)
CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	約303,000t-CO ₂ /日



4 衣浦港外港地区

長所 ● 面積が大きいため、水素製造可能量・CO₂の一時貯留量ともに十分な量を見込める

課題 ● 埋立はされているものの、現状ではインフラは未整備
● 水深12m岸壁を有するふ頭計画は存在するが、活用にあたっては土地利用計画の変更等の調整が必要

所在地	衣浦港内
土地面積	約350,000m ²
用途地域	- (未竣工)
現況用途	- (未竣工)
利活用可能時期の見込	2040年以降※岸壁及び連絡橋等のインフラ整備が完了する時期を想定
水素製造見込量	約1,800t/年 (太陽光水電解) 約43,000t/年 (水電解)
CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	約191,000t-CO ₂ /日

5 田原4区

長所 ● 再エネ電源(バイオマス発電所)やトヨタ自動車等の水素等の需要家候補が集積し、ステークホルダーを巻き込んだ検討がしやすい

課題 ● 土地売買契約の成立により、確保できる土地面積が小さくなる可能性あり

所在地	田原市白浜
土地面積	約841,000m ²
用途地域	工業専用地域 (一部未竣工)
現況用途	-
利活用可能時期の見込	-
水素製造見込量	約4,300t/年 (太陽光水電解) 約105,000t/年 (水電解)
CO ₂ 貯蔵見込量(液化)	周辺需要僅少のため未検討

※水素製造見込量及びCO₂貯蔵見込量は、土地全体をそれぞれの用途に活用したと仮定した場合の試算値。
※NH₃クラッキングは水素需要の多い名古屋港周辺で算出。また、NH₃は海外から輸入、クラッキングに必要な電力は系統電力の活用を前提。